

| 講座              | 講座内容                                                                                                 | 講師                                                                                   |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1講座            | AIエージェントの可能性<br>～士業経営における革新的活用事例～                                                                    | 株式会社船井総合研究所<br>士業ビジネス支援本部<br>本部長<br>小高 健詩                                            |
| 第2講座            | AI活用における実践事例と成果<br><b>税理士向け講座</b><br>ソルビス税理士法人<br>代表 境 裕介氏                                           | 弁護士法人<br>岡山香川架け橋法律事務所<br>代表弁護士 呉 裕麻氏                                                 |
| 士業別<br>ゲスト講座    | <b>司法書士向け講座</b><br>司法書士・行政書士サンシアス<br>代表 丹 茂孝氏                                                        | <b>社労士向け講座</b><br>社会保険労務士法人<br>Next Partners<br>代表 鈴木 健市氏                            |
| 第3講座            | AI活用における実践事例と成果<br><b>税理士向け講座</b><br>株式会社船井総合研究所<br>士業ビジネス支援本部<br>税務・法務支援部<br>税理士・公認会計士グループ<br>梅澤 勇輝 | 弁護士法人<br>岡山香川架け橋法律事務所<br>代表弁護士 呉 裕麻氏                                                 |
| 士業別<br>AI活用事例講座 | <b>司法書士向け講座</b><br>株式会社船井総合研究所<br>士業ビジネス支援本部<br>税務・法務支援部<br>司法書士・土地家屋調査士グループ<br>チーフコンサルタント<br>長野 遥   | <b>社労士向け講座</b><br>株式会社船井総合研究所<br>士業ビジネス支援本部<br>法律・労務支援部<br>社労士グループ<br>リーダー<br>佐々木 幹太 |
| 第4講座            | 明日からすぐに取り組むべきこと<br>～AIエージェント導入への3ステップ～                                                               | 株式会社船井総合研究所<br>士業ビジネス支援本部<br>本部長<br>小高 健詩                                            |

開催要項

日時会場

東京会場  
2026年 7月27日 月

開催時間

13:00～16:30(受付開始:開始時間30分前～)

受講料

一般価格

税抜 10,000円 (税込 11,000円)/1名様

会員価格

税抜 8,000円 (税込 8,800円)/1名様

お申込み方法

船井総研グループ 東京本社 サステナグローススクエア TOKYO

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

●諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。

また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

お問い合わせ

船井総研セミナー事務局

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp

TEL:0120-964-000(平日9:30～17:30)

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

東京会場

2026年 7月27日 月

開催時間

13:00～16:30(受付開始:開始時間30分前～)

受講料

一般価格

税抜 10,000円 (税込 11,000円)/1名様

会員価格

税抜 8,000円 (税込 8,800円)/1名様

お申込み方法

船井総研グループ 東京本社 サステナグローススクエア TOKYO

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

●諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。

また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

お問い合わせ

船井総研セミナー事務局

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp

TEL:0120-964-000(平日9:30～17:30)

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

資格者やベテランへの  
依存状態が限界。

採用したくても、  
人が来ない。

忙しいのに、  
利益が残らない。

少人数事務所でも、ここまでできる。

AIエージェントで  
士業事務所の  
生産性2倍を実現する!

ひとは増やさず、利益を増やす。リアルな成功事例を一挙公開。

ソルビス税理士法人  
代表 境 裕介氏

弁護士法人  
岡山香川架け橋法律事務所  
代表弁護士 呉 裕麻氏

司法書士・行政書士サンシアス  
代表 丹 茂孝氏

社会保険労務士法人  
Next Partners  
代表 鈴木 健市氏

税理士

仕訳チェックAI  
財務分析AIで

独立わずか1年で  
顧問先100社達成

弁護士

相談から受任、事件対応まで  
一気通貫でAIフル活用

弁護士一人当たり  
月間最大約1500万円の  
生産性を実現

司法書士

不動産登記実務に  
おけるAI活用

わずか3名体制で  
売上5500万円達成

社労士

社保手続きAI  
申請業務AIで

AIの実務活用で、  
高付加価値  
コンサルヘシフト

士業業界向け  
特別セミナー

少人数事務所の  
リアルな取り組みを紹介

明日から使える  
実務ノウハウを公開

事務所が抱える課題を  
AIで解決するヒントを講義

主催

サステナグロースカンパニーをもっと。

株式会社船井総合研究所

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号  
東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

お問い合わせNo. S143681

お申込みはこちら

143681

検索

# なぜ今、中小事務所がAIエージェントを導入しなければならないのか？

日本の全業種で深刻な課題となっているのが人不足です。士業の場合は属人性の高さが加わり①～④の人にまつわるネガティブスパイラルに陥ります。さらに平均的な士業事務所の規模だと、一人ひとりの責任と負担が重くのしかかります。しかし、AIエージェントを活用するとこれらの問題を解消するどころか、一気に生産性(一人当たり売上)を2倍に伸ばすことが可能です。

AIエージェントでここまで変わる！

## ① 深刻な採用難

求人を出しても応募がこない。賃上げについていけず、人が採れないから誰か辞めたら既存の仕事も断るしかない

万年人手不足なのに、採用コストや周辺の会社の給与水準は上がる一方。新しい人を雇えないため、事務所のキャパシティが限界に達している。

## ② 重い教育コストと定着失敗

せっかく人を採用できても教育する時間がない。過去の資料もバラバラで、新人が孤立してすぐに辞めてしまう…

運よく採用できても、一人前になるまでの教育コストが重すぎる。ノウハウは紙やPDFで、都度ベテランに質問攻め。「あの人に聞かないとわからない」状態に新人もベテランも疲れ果て、定着せずに教育投資が水の泡に。

## ③ 業務のブラックボックス化

人が定着せず、一人当たりの業務は増え、ミスが頻発…ベテランや資格者にしか分からない業務が増えてブラックボックス化する

教育が進まないため、既存スタッフに業務が集中。雰囲気は悪化し、繁忙期にチェック漏れやエラーが発生する。そして、ベテラン職員の頭の中にしか判断基準がない「職人技」の業務がさらに増えていきます。

## ④ 退職で顧客とノウハウ流出

依存していたベテランが辞め、資格者が独立。ノウハウも顧客も失い、また激しい人不足に逆戻りする…

業務を抱え込んでいたベテランが退職すると、そのノウハウは事務所から消えます。さらに顧客と知識をセットで持ち出される独立リスクに怯え、職員が辞めるたびに①へと逆戻りするネガティブスパイラルは続くことに。

Before



AIエージェントを使うと！

After



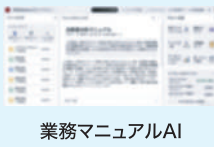
採用に頼らず、AIエージェントで『数人分の労働力』を即座に補完する

書類チェックや下書き作成などの業務をAIが代行し、採用なしで事務所の業務容量を劇的に拡大します。



入社初日からAIが『24時間対応の教育係』になり、ベテランの手を煩わせず即戦力化

業務マニュアルなどをAIに読み込ませ実務の疑問にいつでも即答するメンターとなります。



ベテランの『勘と経験』をAIに移植し、誰でも高品質な判断ができる体制を作る

「複雑な判断基準」や「過去の経験則」を抽出し、AIに学習させ、ベテラン職員や資格者の判断を再現するAIエージェントを構築します。



ノウハウを事務所の『デジタル資産』として活用し、人ではなく組織で顧客を守る

スタッフが辞めても、そのノウハウが「AIエージェント」として事務所に残り続ける仕組みを構築。個人に依存しない「組織としての専門性」を担保し、ITが苦手な職員も巻き込みながら、6ヶ月で「離職・独立に経営が左右されない強固な事務所」へと変革！

## わずか6ヶ月で士業事務所の生産性を2倍にする「AI×実務」の正解をお伝えします。

### 見え始めた「各士業のAIエージェント×実務」の輪郭

### 今回のセミナーは、このような皆様におすすめです！

「結局、AIエージェントをどう使えばいいか？」の答えはもう出ています。6ヶ月で生産性を2倍に引き上げる『実証済のAI×実務』の全てを、今回ご登壇いただく事務所と船井総合研究所のクライアント先の事例を挙げてお話します。今回のセミナーは、各士業ごとの選択講座でその講座内容は下記の通りです。

#### 弁護士



弁護士3名の月間売上4000万円を突破！相談から受任後までAIのフル活用による超高生産性事務所。

GeminiやNotebookLM、Notion AIなどを相談前の対応・相談・受任後のすべてのフェーズに導入することで、個々の事案内容や依頼者の心情に寄り添った対応を実現。大量案件の効率処理と高い顧客満足度を同時に達成。

#### 税理士



資料回収の時間が1/12(60分→5分)に激減！異常値の検知から自動仕分け登録作成まで完全自動化。

面談録音からの議事録作成はもちろん、各クライアントの過去データを学習させた「返信ドラフト」の自動生成、毎日の自動仕訳登録、異常値を検知した際のクライアントへの自動連絡システムまで構築。月次BS/PLレポートや3期比較の業績推移ダッシュボード、財務分析指標の計算まで、AIが裏側で稼働し続けます。

#### 司法書士



わずか3名で売上5500万円の仕事をミスなくこなし、1名あたり売上1800万円の超高生産性を実現

登記簿謄本などの書類をAIに取り込ませ、案件に関わる情報を抽出、加えて見積金額の算出までをAIに一任。さらにはAIと顧客管理システムを連携し、整理した情報の同期までを一括化させています。作業ミスと入力の手間を可能な限り削減したシステムを構築し、活用しています。

#### 社労士



定型業務を大幅削減。クライアントが泣いて喜ぶ「分析レポート」を追加提供する高付加価値型社労士へ。

給与計算、社会保険手続き、助成金申請(就業規則との整合性チェック)といったこれまでの実務を、AIのサポートで加速化。雇用契約書の電子署名は実運用で約38件を回収、契約書の手間は1/5以下に削減、議事録の整形・宿題まとめも1/5以下に効率化。浮いた時間を職員向けのパルスサーベイ(従業員意識調査)の運用・検証に充て、顧問先への分析レポート提供を進めています。

求人を出しても応募が来ない、あるいは他社の賃上げに太刀打ちできないため、スタッフ数人分の仕事をAIエージェントで補完したい

特定の資格者やベテランにしか分からない業務フローが多く、所長がいつまでも現場を離れられない、またはボトルネックになっている

「顧客と知識をセットで持ち出される」リスクを軽減するため、事務所独自のナレッジベースをAI化し、組織として顧客対応する体制を整えたい

単純作業をAIに任せて2倍のスピードで終わらせ、空いた時間でコンサルティングや付加価値の高い提案業務にシフトしたい

何十年分もの資料や申請書のナレッジがあるものの、うまく活用できていない。これをAIエージェントの判断する「脳」として利用したい